

令和元年度

シラバス

5年次

歯科医学総合講義 5



日本大学松戸歯学部

令和元年度 歯科医学総合講義5 シラバス

一般目標 (General Instructional Objective : GIO):

臨床実習で遭遇する症例の問題解決と歯科医師国家試験の問題解決を行えるようになるために、歯科医学の科学的根拠に基づいた基礎的および臨床的知識を修得する。

単位数：5

1) 講義実施要項

1. 講義教室：401 教室
2. 講義時間：月曜日から土曜日までの午前 8 時 40 分～9 時 40 分
3. 以下の 6 ユニットに分割する。講義日程参照。

ユニット I：基礎歯科医学領域

ユニット II：診断・小児歯科・矯正歯科・障害者歯科領域

ユニット III：歯科保存領域

ユニット IV：補綴・インプラント領域

ユニット V：放射線・口腔外科（インプラント含む）・歯科麻酔・臨床検査

ユニット VI：口腔衛生領域

4. 講義は国家試験問題に基づいて基礎から臨床までの領域を理解することを目標とし、各ユニットを以下のように構成する。

- ① プレ試験：講義前の学力を評価する試験。歯科医師国家試験過去問題の改変問題とする。
- ② 講義：5 年次において国家試験に備え学修すべき内容を提示し、基礎学力を向上させる講義を行う。
- ③ 平常試験：講義後の評価を行う試験。講義内容に沿った歯科医師国家試験過去問題の改変問題とする。
- ④ 解説講義：平常試験の結果から理解度が不足している項目を抽出し解説を行う。

2) 歯科医学総合講義5のプレ試験，平常試験，学力評価試験，定期試験および再試験実施要項

1. プレ試験

- ① 歯科医師国家試験過去問題集実践 2020 の改変問題を出題する。出題範囲、問題数、試験時間は以下の通りとする。但し、問題の配点は一般問題、臨床実地問題ともに 1 点とする。

ユニット	国試出題範囲	実施日	試験時間	一般問題数	臨床実地問題数	合計
I	基礎全範囲	10/1	8：40～9：30	48	/	48
II	103～112 回	10/12	8：40～10：20	40	30	70
III	103～112 回	11/7	8：40～10：20	40	30	70
IV	103～112 回	12/2	8：40～10：20	40	30	70
V	103～112 回	1/10	8：40～10：20	40	30	70
VI	103～112 回	2/12	8：40～9：40	50	5	55

プレ試験の追試験は原則実施しない。

2. 平常試験

- ① ユニットⅡ～Ⅵ終了後に平常試験を実施する。
- ② MCQ 試験とし、一般問題と臨床実地問題を出題する。但し、問題の配点は一般問題、臨床実地問題ともに1点とする。試験時間等は以下の通りである。
- ③ 平常試験の追試験は原則的に実施しない。

試験区分	実施日	試験時間	問題数
平常試験 1 (ユニットⅡ)	11/5	8:40～9:50	一般問題 32 臨床実地 16
平常試験 2 (ユニットⅢ)	11/28	8:40～9:50	一般問題 30 臨床実地 15
平常試験 3 (ユニットⅣ)	12/27	8:40～10:10	一般問題 38 臨床実地 19
平常試験 4 (ユニットⅤ)	2/8	8:40～10:20	一般問題 44 臨床実地 22
平常試験 5 (ユニットⅥ)	2/22	8:40～9:30	一般問題 36 臨床実地 4

3. 学力評価試験

基礎および臨床科目の総合学力評価を目的として、歯科医師国家試験に準じた学力評価試験を実施する。学力評価試験の追試験は原則実施しない。

- ① 試験日 令和2年1月6日(月)
- ② 試験時間 9:30～12:05、13:30～16:05
- ③ 試験問題数 (必修50問、一般108問、臨床実地52問の合計210問)

4. 定期試験

- ① 試験日 令和2年2月28日(金)
- ② 試験時間 9:00～10:30(一般96問,90分)、11:00～12:30(一般97問,90分)
13:40～15:40(臨床実地42問,120分)
- ③ 試験問題数: 歯科医学総合講義 5(ユニットⅠ～Ⅵ)の講義内容を基に歯科基礎医学領域は一般問題3問/1コマ、臨床系は一般問題2問/1コマ、臨床実地10問/ユニット、衛生領域は一般問題25問、臨床実地2問、MCQ形式の問題235問とする。講義内容だけでなくプレ試験範囲の国試過去問改変問題を2割程度出題する。各ユニットと問題数の配分は以下の通りである。問題の配点は一般問題、臨床実地ともに1点とする。

ユニット	一般問題数	臨床実地問題数
I	24	
II	32	10
III	30	10
IV	38	10
V	44	10
VI	25	2

3) 歯科医学総合講義5の合格基準

各試験の評価割合をプレ試験全正答率の10%、平常試験全正答率の20%、学力評価試験正答率の5%および定期試験正答率の65%を合計し、その正答率が68%以上の者を歯科医学総合講義5の合格者とする。

4) 追・再試験について

- ① 上記の合格基準に満たない者で定期試験を受験した者を再試験該当者とし、再試験受験手続をした者に行う。
- ② 定期試験を病気など正当な理由で欠席し、追試験の手続きをした者に行う。
- ③ 試験問題数は、歯科医学総合講義5の講義内容を基に一般問題120問、臨床実地問題25問の総問題数145問とする。講義内容だけでなくプレ試験範囲の国試過去問改変問題を2割程度出題する。各ユニットと問題数の配分は以下の通りである。問題の配点は一般問題、臨床実地問題ともに1点とする。

ユニット	一般問題数	臨床実地問題数
I	16	
II	20	6
III	18	6
IV	24	6
V	27	6
VI	15	1

- ④ 試験日 令和2年3月13日(金)
- ⑤ 試験時間 10:00~11:35(一般問題60問, 臨床実地12問, 95分)
13:00~14:35(一般問題60問, 臨床実地13問, 95分)
- ⑥ 合格判定基準 各試験の評価割合をプレ試験全正答率の10%、平常試験全正答率の20%、学力評価試験正答率の5%および追再試験正答率の65%を合計し、その正答率が68%以上の者を歯科医学総合講義5の合格者とする。
- ⑦ 追・再試験は、定期試験合格者も実力試験として受験しなければならない。未受験者、成績不良者は、6年次の補講対象者となる。

令和元年度 歯科医学総合講義5 日程表

出席確認 8:35~8:40, 講義時間 8:40~9:40, 会場 401教室

月日	曜	ユニット	テーマ	オーガナイザー	担当講座・分野	講義担当者	備考
10月1日	火	プレ試験 I	基礎歯科医学領域	加藤 治			
10月2日	水	ユニット I-1	プレ試験問題解説講義1		解剖学	松野 昌展	
10月3日	木	ユニット I-2	プレ試験問題解説講義2		歯科生体材料学	谷本 安浩	
10月4日	金						日本大学創立記念日
10月5日	土	ユニット I-3	プレ試験問題解説講義3		病理学	宇都宮 忠彦	
10月6日	日						
10月7日	月	ユニット I-4	プレ試験問題解説講義4		生理学	加藤 治	
10月8日	火	ユニット I-5	プレ試験問題解説講義5		組織学	玉村 亮	
10月9日	水	ユニット I-6	プレ試験問題解説講義6		生化学・分子生物学	竹内 麗理	
10月10日	木	ユニット I-7	プレ試験問題解説講義7		薬理学	松本 裕子	
10月11日	金	ユニット I-8	プレ試験問題解説講義8		感染免疫学	栗原 紀子	
10月12日	土	プレ試験 II	診断・小児歯科・矯正歯科・障害者歯科領域	石井 かおり			
10月13日	日						
10月14日	月						体育の日
10月15日	火	ユニット II-1	医療面接		歯科総合診療学	多田 充裕	
10月16日	水	ユニット II-2	POSとPOMR		歯科総合診療学	岡本 康裕	
10月17日	木	ユニット II-3	摂食嚥下リハビリテーション		障害者歯科学	遠藤 眞美	
10月18日	金	ユニット II-4	高齢者の歯科治療		障害者歯科学	梅澤幸司(矢口 学)	
10月19日	土	ユニット II-5	訪問歯科診療		障害者歯科学	梅澤 幸司	
10月20日	日						
10月21日	月	ユニット II-6	障害者の歯科治療		障害者歯科学	三田村 佐智代	
10月22日	火						休講
10月23日	水	ユニット II-7	不正咬合の原因		矯正歯科学	五関たけみ(菊田 純)	
10月24日	木	ユニット II-8	セファロ分析		矯正歯科学	五関たけみ(杉森 匡)	
10月25日	金	ユニット II-9	治療計画の立案1(混合歯列期)		矯正歯科学	石井 かおり	
10月26日	土	ユニット II-10	治療計画の立案2(永久歯列期)		矯正歯科学	清水 真美	
10月27日	日						
10月28日	月	ユニット II-11	治療計画の立案3(外科的矯正治療)		矯正歯科学	五関 たけみ	
10月29日	火	ユニット II-12	歯の発育と異常		小児歯科学	根本 晴子	
10月30日	水	ユニット II-13	小児の歯科診療、齲蝕と進行抑制		小児歯科学	小川 奈保	
10月31日	木	ユニット II-14	小児期の歯冠修復と歯内療法		小児歯科学	小川 奈保	
11月1日	金	ユニット II-15	小児の外傷歯への対応		小児歯科学	根本 晴子	
11月2日	土	ユニット II-16	小児の外科的処置		小児歯科学	清水 邦彦	
11月3日	日						文化の日
11月4日	月						振替休日

月日	曜	ユニット	テーマ	オーガナイザー	担当講座・分野	講義担当者	備考
11月5日	火	平常試験1		石井 かおり			
11月6日	水	平常試験1解説講義		石井 かおり			
11月7日	木	プレ試験Ⅲ	保存修復・歯内療法・歯周病領域	神尾 直人			
11月8日	金	ユニットⅢ-1	硬組織疾患の検査と治療方針		保存修復学	神谷 直孝	
11月9日	土	ユニットⅢ-2	齶蝕除去の臨床術式・器具および歯髄保護法		保存修復学	寺中 文子	付属推薦入試
11月10日	日						
11月11日	月	出席確認, 自学自習					6年1次卒業判定試験
11月12日	火	ユニットⅢ-3	齶蝕と非齶蝕性硬組織疾患の処置		保存修復学	岡田 珠美	
11月13日	水	ユニットⅢ-4	間接修復(メタル・セラミック・コンポジットレジンインレー)の特徴・術式		保存修復学	寺中 文子	
11月14日	木	ユニットⅢ-5	接着操作・術後管理・補修修復		保存修復学	岩井 啓寿	
11月15日	金	ユニットⅢ-6	歯内療法の検査と診断(顕微鏡含む)		歯内療法学	松島 潔	
11月16日	土	ユニットⅢ-7	歯髄疾患と処置、治療		歯内療法学	神尾 直人	
11月17日	日						
11月18日	月	ユニットⅢ-8	根尖周囲組織疾患と処置、治療		歯内療法学	神尾 直人	
11月19日	火	ユニットⅢ-9	根管形成・充填(NiTi含む)、外科的歯内療法		歯内療法学	吉田 陽子	
11月20日	水	ユニットⅢ-10	偶発症、漂白、高齢者と歯内療法		歯内療法学	岡部 達	
11月21日	木	ユニットⅢ-11	歯周病と全身疾患		歯周治療学	中山 洋平	
11月22日	金	ユニットⅢ-12	歯周病の診査・診断		歯周治療学	吉野 祥一	
11月23日	土						勤労感謝の日
11月24日	日						
11月25日	月	ユニットⅢ-13	歯周基本治療・咬合治療		歯周治療学	目澤 優	
11月26日	火	ユニットⅢ-14	歯周外科治療・メンテナンス・SPT		歯周治療学	高井 英樹	
11月27日	水	ユニットⅢ-15	最新の歯周治療		歯周治療学	小方 頼昌	
11月28日	木	平常試験2		神尾 直人			
11月29日	金	平常試験2解説講義		神尾 直人			
11月30日	土	出席確認, 自学自習					
12月1日	日						
12月2日	月	プレ試験Ⅳ	有床義歯・クラウンブリッジ・インプラント領域	小林 平			
12月3日	火	ユニットⅣ-1	顎口腔機能に関わる国家試験問題解説1		顎口腔機能治療学分野	浅野 隆	
12月4日	水	ユニットⅣ-2	顎口腔機能に関わる国家試験問題解説2		顎口腔機能治療学分野	浅野 隆	
12月5日	木	ユニットⅣ-3	全部床義歯の国家試験問題解説1		有床義歯補綴学	矢崎 貴啓	
12月6日	金	ユニットⅣ-4	全部床義歯の国家試験問題解説2		有床義歯補綴学	矢崎 貴啓	
12月7日	土	ユニットⅣ-5	全部床義歯の国家試験問題解説3		有床義歯補綴学	中田 浩史	
12月8日	日						
12月9日	月	出席確認, 自学自習					6年第2次判定試験
12月10日	火	出席確認, 自学自習					6年第2次判定試験
12月11日	水	ユニットⅣ-6	全部床義歯の国家試験問題解説4		有床義歯補綴学	木本 統	

月日	曜	ユニット	テーマ	オーガナイザー	担当講座・分野	講義担当者	備考
12月12日	木	ユニットIV-7	全部床義歯の国家試験問題解説5		有床義歯補綴学	木本 統	
12月13日	金	ユニットIV-8	局部床義歯の国家試験問題解説1		有床義歯補綴学	大久保 昌和	
12月14日	土	ユニットIV-9	局部床義歯の国家試験問題解説2		有床義歯補綴学	飯島 守雄	
12月15日	日						
12月16日	月	ユニットIV-10	局部床義歯の国家試験問題解説3		有床義歯補綴学	石井 智浩	
12月17日	火	ユニットIV-11	局部床義歯の国家試験問題解説4		有床義歯補綴学	飯島 守雄	
12月18日	水	ユニットIV-12	局部床義歯の国家試験問題解説5		有床義歯補綴学	伊藤 誠康	
12月19日	木	ユニットIV-13	クラウンブリッジの要件、支台装置、ポンティック、連結部		クラウンブリッジ補綴学・口腔インプラント補綴学	田中 孝明	
12月20日	金	ユニットIV-14	ブリッジの種類、診査診断、治療計画、前処置		クラウンブリッジ補綴学・口腔インプラント補綴学	小林 平	
12月21日	土	ユニットIV-15	支台歯形成、テンポラリークラウン・ブリッジ、印象		クラウンブリッジ補綴学・口腔インプラント補綴学	大村 祐史	
12月22日	日						
12月23日	月	ユニットIV-16	作業用模型、咬合採得、咬合器付着、蠟型形成、埋没		クラウンブリッジ補綴学・口腔インプラント補綴学	大村 祐史	
12月24日	火	ユニットIV-17	鑄造、ろう付け、研磨、試適、術後管理、インプラント		クラウンブリッジ補綴学・口腔インプラント補綴学	田中 孝明	
12月25日	水	ユニットIV-18	インプラント治療の検査とリスクファクター		クラウンブリッジ補綴学・口腔インプラント補綴学	村上 洋	
12月26日	木	ユニットIV-19	インプラントの上部構造・補綴治療		クラウンブリッジ補綴学・口腔インプラント補綴学	北川 剛至	
12月27日	金	平常試験3		小林 平			
12月28日	土	平常試験解3解説講義		小林 平			臨床実習終了
12月29日	日						
12月30日	月						
12月31日	火						
1月1日	水						
1月2日	木						
1月3日	金						
1月4日	土						
1月5日	日						
1月6日	月	学力評価試験		清水 武彦			
1月7日	火						
1月8日	水						
1月9日	木	出席確認, 自学自習					臨床実習開始
1月10日	金	プレ試験V	放射線・口腔外科・麻酔・臨床検査領域	濱野 美緒			
1月11日	土	ユニットV-1(教室101)	全身疾患を有する患者に対する外科処置について		顎顔面外科学	枝 卓志	AO入試(第2期)
1月12日	日						
1月13日	月						成人の日
1月14日	火	ユニットV-2	粘膜疾患について		顎顔面外科学	枝 卓志	
1月15日	水	ユニットV-3	下顎骨骨折について		顎顔面外科学	青木 暁宣	
1月16日	木	ユニットV-4	上顎骨骨折について		顎顔面外科学	青木 暁宣	
1月17日	金	ユニットV-5	薬物と顎骨髄炎について		口腔外科学	濱野 美緒	
1月18日	土	ユニットV-6	炎症性疾患について		口腔外科学	西村 均	
1月19日	日						
1月20日	月	ユニットV-7	ウイルス疾患について		口腔外科学	山本 泰	
1月21日	火	ユニットV-8	抜歯について		口腔外科学	濱野 美緒	
1月22日	水	ユニットV-9	気管支喘息・ステロイドについて		歯科麻酔学	鈴木 正敏	

月日	曜	ユニット	テーマ	オーガナイザー	担当講座・分野	講義担当者	備考
1月23日	木	ユニットV-10	心臓弁膜疾患について		歯科麻酔学	下坂 典立(中村真実)	
1月24日	金	ユニットV-11	局所麻酔時の合併症 その1		歯科麻酔学	下坂 典立	
1月25日	土	ユニットV-12	局所麻酔時の合併症 その2		歯科麻酔学	下坂 典立	
1月26日	日						
1月27日	月	ユニットV-13	精神鎮静法について		歯科麻酔学	下坂 典立	
1月28日	火	ユニットV-14	不整脈とその対応		歯科麻酔学	下坂 典立	
1月29日	水	ユニットV-15	口腔インプラント埋入手術について		クランブリッジ補綴学・口腔インプラント補綴学	玉木 大之	
1月30日	木	出席確認, 自学自習					臨床実地試験視察予定
1月31日	金	ユニットV-16	顎骨に発生する嚢胞・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断		放射線学	平原 尚久	
2月1日	土	ユニットV-17	歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の画像診断		放射線学	平原 尚久	
2月2日	日						
2月3日	月	ユニットV-18	歯槽骨・顎骨の炎症の画像診断		放射線学	平原 尚久	
2月4日	火	ユニットV-19	軟組織に発生する嚢胞性疾患・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断		放射線学	平原 尚久	一般入試A方式(第1期)
2月5日	水	ユニットV-20	感染症		歯科臨床検査医学分野	瀧上 真奈	
2月6日	木	ユニットV-21	出血性素因		歯科臨床検査医学分野	小峯 千明	
2月7日	金	ユニットV-22	貧血		歯科臨床検査医学分野	深津 晶	
2月8日	土	平常試験4		濱野 美緒			
2月9日	日						
2月10日	月	平常試験4解説講義		濱野 美緒			
2月11日	火						建国記念日
2月12日	水	プレ試験VI	衛生領域	田口 千恵子			
2月13日	木	ユニットVI-1	口腔衛生総論		衛生学	有川 量崇	
2月14日	金	ユニットVI-2	齲蝕の予防・管理		衛生学	有川量崇(田口千恵子)	
2月15日	土	ユニットVI-3	医事法制		医療管理学	笹井 啓史	
2月16日	日						
2月17日	月	ユニットVI-4	歯周疾患の予防・管理		衛生学	有川量崇(田口千恵子)	
2月18日	火	ユニットVI-5	地域歯科保健(母子保健法、学校保健安全法、健康増進法を含む)		衛生学	後藤田 宏也	
2月19日	水	ユニットVI-6	医療保険(医療経済)		医療管理学	笹井 啓史	
2月20日	木	ユニットVI-7	医療保険(診療報酬制度)		医療管理学	笹井 啓史	
2月21日	金	ユニットVI-8	歯科疾患の統計指標		衛生学	有川 量崇	
2月22日	土	平常試験5		田口 千恵子			
2月23日	日						天皇誕生日
2月24日	月						振替休日
2月25日	火	平常試験5解説講義		田口 千恵子			臨床実習掃除出席のみ
2月26日	水	出席確認, 自学自習					臨床実習掃除出席のみ
2月27日	木	出席確認, 自学自習					臨床実習掃除出席のみ
2月28日	金	定期試験		清水 武彦			臨床実習掃除出席のみ
2月29日	土	OSCAT, 一斉技能試験説明					
3月1日	日						
3月2日	月	総合試験解説講義					
3月3日	火	総合試験解説講義					
3月4日	水	総合試験解説講義					一般入試A方式(第2期)

月日	曜	ユニット	テーマ	オーガナイザー	担当講座・分野	講義担当者	備考
3月5日	木	総合試験解説講義					
3月6日	金	一斉技能試験予定					再試験該当者発表予定
3月7日	土	出席確認, 自学自習					
3月8日	日						
3月9日	月	出席確認, 自学自習					
3月10日	火	出席確認, 自学自習					
3月11日	水	出席確認, 自学自習					
3月12日	木	出席確認, 自学自習					
3月13日	金	再試験(実力試験)		清水 武彦			臨床実習掃除出席のみ
3月14日	土	出席確認, 自学自習					
3月15日	日						
3月16日	月	基礎系補充講義	生化学	宇都宮 忠彦	生化学・分子生物学	平塚 浩一	
3月17日	火	基礎系補充講義	組織学		組織学	玉村 亮	
3月18日	水	基礎系補充講義	解剖学		解剖学	松野 昌展	
3月19日	木	基礎系補充講義	生理学		生理学	吉垣 純子	
3月20日	金						春分の日
3月21日	土	基礎系補充講義	微生物・免疫学		感染免疫学	落合 智子	
3月22日	日						
3月23日	月	基礎系補充講義	病理学		病理学	宇都宮 忠彦	
3月24日	火	基礎系補充講義	薬理学		薬理学	松本 裕子	
3月25日	水	基礎系補充講義	歯科理工学		歯科生体材料学	谷本 安浩	5年進級発表予定, 卒業式
3月26日	木	自学自習					
3月27日	金	自学自習					
3月28日	土	自学自習					
3月29日	日						
3月30日	月	自学自習					
3月31日	火	自学自習					

講義日 時限 国試出題基準
10月02日 1時限 総論-Ⅱ-4-ア

担当者 松野 昌展

テーマ： プレ試験問題解説講義 1

授業の一般目標： 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた解剖学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。

到達目標 S B O s :

1) 頭頸部の構造を形態学的に説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：プレ試験Ⅰ（解剖学）の問題を確認する。

事前学修時間：30分

事後学修項目：プレ試験Ⅰ（解剖学）の解説講義の内容を整理・復習する。

事後学修時間：30分

=====

講義日 時限 国試出題基準
10月03日 1時限 総論-VIII-1-ア-a 総論-VIII-1-ア-b 総論-VIII-1-ア-c 総論-VIII-1-ア-d

担当者 谷本 安浩

テーマ： プレ試験問題解説講義 2

授業の一般目標： 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた理工学的知識を習得し、国家試験問題の解決方法を理解する。

到達目標 S B O s :

1) 有機材料の構造と物性との関係を説明できる。

2) 無機材料の構造と物性との関係を説明できる。

3) 金属材料の構造と物性との関係を説明できる。

4) 複合材料の構造と物性との関係を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：プレ試験Ⅰ（歯科生体材料学）の問題を確認する。

事前学修時間：30分

事後学修項目：プレ試験Ⅰ（歯科生体材料学）の解説講義の内容を整理・復習する。

事後学修時間：30分

講義日	時限	国試出題基準
10月05日	1時限	必修-7-ア-a 総論-III-1-ア 総論-III-1-イ-a 総論-III-1-ウ-a 総論-III-1-ウ-d 総論-III-1-エ-b 総論-III-1-オ-c 総論-III-1-オ-d

担当者 *宇都宮 忠彦

テーマ： プレ試験問題解説講義3

授業の一般目標： 病因・病態を理解するために、病因、6大病変及び主な口腔疾患の病態について学修する。

到達目標SBOs：

- 1)以下の学修目標と内容は基礎歯科医学教育及び臨床経験に基づいて設定する。
- 2)病因を列挙することができる。
- 3)6大病変の特徴と代表的疾患について説明できる。
- 4)主要な口腔疾患の病理学的特徴について解説できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- 事前学修項目：
1) 病因論と6大病変の概要
・事前学修時間：30分
- 事後学修項目：
1) 講義の炎症問題の復習
・事後学修時間：30分

講義日	時限	国試出題基準
10月07日	1時限	必修-5-ア-e

担当者 加藤 治

テーマ： プレ試験問題解説講義4

授業の一般目標： 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた生理学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。

到達目標SBOs：

- 1)神経系による恒常性の維持メカニズムを説明できる。
- 2)内分泌系による恒常性の維持メカニズムを説明できる。
- 3)循環と呼吸の調節機構を説明できる。
- 4)感覚の伝導と成立を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- 準備学修項目：プレ試験Iの復習
準備学修時間：30分
事後学修項目：講義の復習，問題集
事後学修時間：60分

講義日	時限	国試出題基準
10月08日	1時限	総論-Ⅱ-5-イ-a 総論-Ⅱ-5-イ-b

担当者 玉村 亮

テーマ： プレ試験問題解説講義5

授業の一般目標： 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた組織学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) エナメル質、象牙質・歯髄複合体およびセメント質の組織学的構造を説明できる。
- 2) 歯周組織の組織学的構造を説明できる。
- 3) 歯の発生、歯胚の構造を説明できる。
- 4) 口腔粘膜の組織学的構造を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：プレ試験問題の確認
準備学修時間：30分
事後学修項目：解説講義の復習
事後学修時間：30分

=====

講義日	時限	国試出題基準
10月09日	1時限	必修-5-ア-a 必修-5-ア-b 必修-5-ア-c 総論-Ⅱ-5-イ-a 総論-Ⅱ-5-イ-b 総論-Ⅱ-6-オ-a 各論-Ⅱ-1-ア-a

担当者 竹内 麗理

テーマ： プレ試験問題解説講義6

授業の一般目標： 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた生化学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 人体を構成する成分について説明できる。
- 2) 遺伝子からタンパク質合成までを説明できる。
- 3) 細胞外基質や骨代謝を説明できる。
- 4) 歯の硬組織や唾液の組成とその機能を説明できる。
- 5) 炎症、う蝕や歯周病の成り立ちを説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：プレ試験Ⅰの復習
準備学修時間：30分
事後学修項目：講義内容の復習
事後学修時間：60分

講義日	時限	国試出題基準
10月10日	1時限	総論-VII-8-ア-b 総論-VII-8-ア-c

担当者 松本 裕子

テーマ： プレ試験問題解説講義7

授業の一般目標： 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた薬理学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 薬物の作用機序について説明できる。
- 2) 薬物動態について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：プレ試験Iの復習。

事前学修時間：30分

事後学修項目：授業時配布プリントの内容確認と整理。

事後学修時間：30分

=====

講義日	時限	国試出題基準
10月11日	1時限	必修-7-ア-e 必修-5-ア-f 必修-5-イ-c

担当者 栗原 紀子

テーマ： プレ試験問題解説講義8

授業の一般目標： 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた微生物および免疫学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 細菌・ウイルス・真菌感染症と病原微生物を説明できる。
- 2) 滅菌と消毒の種類と適応を説明できる。
- 3) プラークについて説明できる。
- 4) 免疫反応に関与する細胞および液性因子について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：プレ試験Iの復習。

事前学修時間：30分

事後学修項目：配布プリントの確認と整理。

事後学修時間：30分

講義日	時限	国試出題基準
10月15日	1時限	必修-9-ウ-a 必修-9-ウ-b

担当者 *多田 充裕

テーマ： 医療面接

授業の一般目標： 適切な診療を行うために医療面接に関する基本的事項を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 医療面接の意義・目的について説明できる。
- 3) 各種質問法について説明できる。
- 4) 解釈モデルについて説明できる。
- 5) 言語的・非言語的コミュニケーションについて説明できる。
- 6) 医療者の態度類型について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：医療面接の目的、質問法、コミュニケーションの基本
準備学修時間：60分
事後学修項目：講義資料の内容確認と整理
事後学修時間：60分

=====

講義日	時限	国試出題基準
10月16日	1時限	必修-2-コ-b 必修-2-コ-a

担当者 *岡本 康裕

テーマ： POSとPOMR

授業の一般目標： 十分な情報収集・情報の整理を行い、患者中心の医療を実践するために、問題指向型診療録について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 問題解決過程について説明できる。
- 3) POSについて説明できる。
- 4) SOAPについて説明できる。
- 5) POMRの記載項目を挙げて各々について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：臨床実習において実践したPOMRの内容確認
- ・準備学修時間：15分
- ・事後学修項目：POMRの構成、SOAP記載に関する知識の確認
- ・事後学修時間：15分

講義日	時限	国試出題基準
10月17日	1時限	総論-VII-6-イ-a

担当者 *遠藤 眞美

テーマ： 摂食嚥下障害とリハビリテーション

授業の一般目標： 摂食嚥下リハビリテーションを理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 摂食嚥下障害の検査について説明できる。
- 3) 摂食嚥下リハビリテーションについて説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：摂食嚥下に関する項目を教科書やプリント等で確認しておくこと。
- ・準備学修時間：60分
- ・事後学修項目：当日、触れた内容について教科書を再度、確認しておくこと。
- ・事後学修時間：60分

講義日	時限	国試出題基準
10月18日	1時限	総論-VII-1-ウ-c

担当者 *矢口 学

テーマ： 高齢者の歯科治療

授業の一般目標： 高齢者の歯科治療における基本理念および医学的基礎知識と歯科診療上の配慮について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) 高齢者の口腔の特徴について説明できる。
- 3) 高齢者の身体的特徴について説明できる。
- 4) 高齢者に多く認められる全身疾患について説明できる。
- 5) 高齢者における歯科治療上の注意事項を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- 準備学修項目：スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科 第2版（医歯薬出版）
- 準備学修時間：60分
- 事後学修項目：授業時配布資料を用いた内容確認と整理
- 事後学修時間：60分

講義日	時限	国試出題基準
10月19日	1時限	必修-3-A-a 各論-V-8-A-a 各論-V-8-A-b 各論-V-8-I

担当者 *梅澤 幸司

テーマ： 訪問歯科診療

授業の一般目標： 居宅や老人福祉施設におけるスペシャルニーズのある人に対する歯科治療やそれらを取り巻く環境について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) 訪問歯科診療について説明できる。
- 3) 訪問歯科診療の対象について説明できる。
- 4) 居宅について説明できる。
- 5) 老人福祉施設について説明できる。
- 6) 社会保障制度について説明できる。
- 7) 地域医療連携について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学習項目：スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科第2版「地域における障害者歯科」P26-37.

準備学習時間60分

事後学修項目：講義内容と配布資料を確認・整理する。事後学習時間60分

=====

講義日	時限	国試出題基準
10月21日	1時限	総論-V-3-A 総論-V-3-U 総論-V-3-E 総論-V-3-O 総論-V-3-K

担当者 *三田村 佐智代

テーマ： 障害者の歯科治療

授業の一般目標： 障害者歯科保健に関わる基本理念，障害に関する医学的知識と歯科医療の配慮および障害者地域歯科医療における課題解決に必要な基本知識と概念を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 障害者の主な口腔症状について説明できる。
- 3) 障害者の主な歯科治療について説明できる。
- 4) 先天異常ならびに症候群について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：臨床実習にて作成したノートの内容を確認しておくこと

準備学修時間：30分

事後学修項目：障害者の特徴，口腔所見，歯科治療について確認しておくこと

事後学修時間：60分

講義日	時限	国試出題基準
10月23日	1時限	各論-I-6-エ

担当者 *五関 たけみ、*菊田 純

テーマ： 不正咬合の原因

授業の一般目標： 適切な矯正治療を実践するために必要な、不正咬合の病態および原因について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 不正咬合の先天性原因について説明できる。
- 3) 不正咬合の後天的原因について説明できる。
- 4) 各種不正咬合の特徴を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：不正咬合の原因

準備学修時間：30分

事後学修項目：不正咬合の原因

事後学修時間：30分

講義日	時限	国試出題基準
10月24日	1時限	各論-I-7-イ

担当者 *五関 たけみ、*杉森 匡

テーマ： セファロ分析

授業の一般目標： 矯正治療におけるセファロ分析について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 各計測点について説明できる。
- 3) 各基準平面について説明できる。
- 4) 計測項目について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：セファロ分析項目

準備学修時間：30分

事後学修項目：セファロ分析項目

事後学修時間：30分

講義日	時限	国試出題基準
10月25日	1時限	各論-I-10-イ

担当者 *石井 かおり

テーマ： 治療計画の立案1（混合歯列期）

授業の一般目標： 混合歯列の矯正治療における治療方針、矯正装置および器材について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 上顎前突の形態的、機能的特徴を列挙できる。
- 3) 骨格性、機能的下顎前突の特徴を述べることができる。
- 4) 上顎前突、下顎前突の治療に用いる矯正装置とその使用目的を説明できる。
- 5) 開咬の形態的、機能的特徴を列挙できる。
- 6) 狭窄歯列の形態的、機能的特徴を列挙できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：混合歯列期の治療
準備学修時間：60分
事後学修項目：混合歯列期の治療
事後学修時間：60分

講義日	時限	国試出題基準
10月26日	1時限	各論-I-10-ウ

担当者 *清水 真美

テーマ： 治療計画の立案2（永久歯列期）

授業の一般目標： 永久歯列期の矯正治療における治療方針、矯正装置および器材について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 抜歯、非抜歯の診断について説明できる。
- 3) 抜歯部位について説明できる。
- 4) マルチブラケット装置の治療について説明できる。
- 5) 固定および固定装置について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：抜歯非抜歯の判定
準備学修時間：30分
事後学修項目：永久歯列期の治療
事後学修時間：60分

講義日 時限 国試出題基準
10月28日 1時限 各論-I-10-才

担当者 *五関 たけみ

テーマ： 治療計画の立案3（顎変形症）

授業の一般目標： 顎変形症患者の矯正治療を適切に行うために必要な診断、治療方針及び治療計画の立案について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) デンタルコンペンセーションを説明できる。
- 3) 外科的矯正治療の流れを説明できる。
- 4) 術前矯正治療について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：①骨格性下顎前突、骨格性上顎前突の特徴について
②外科的矯正治療とは

準備学修時間：30分

事後学修項目：外科的矯正治療について

事後学修時間：30分

=====

講義日 時限 国試出題基準
10月29日 1時限 各論-I-2-ア-a 各論-I-2-ア-b 各論-I-2-イ-a 各論-I-2-イ-b 各論-I-2-イ-d 各論-I-2-イ-f 各論-I-2-イ-g 各論-I-2-ウ-a

担当者 *根本 晴子

テーマ： 歯の発育と異常

授業の一般目標： 小児の歯科疾患の診断および治療ができるようになるために、歯の発育と異常について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 年齢と歯の発育について説明できる。
- 3) 歯の形成障害について説明できる。
- 4) 萌出の異常について説明できる。
- 5) 歯数の異常について説明できる。
- 6) 形態の異常について説明できる。
- 7) 構造の異常について説明できる。
- 8) 色調の異常について説明できる。
- 9) その他の異常について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：『小児の口腔科学』 歯の発育と異常

準備学修時間：30分

事後学修項目：配布プリント

事後学修時間：30分

講義日	時限	国試出題基準
10月30日	1時限	各論-Ⅱ-1-エ-a 各論-Ⅱ-1-イ-a 各論-Ⅱ-1-イ-d 各論-Ⅱ-1-イ-f 各論-Ⅱ-1-エ-b

担当者 *小川 奈保

テーマ： 小児の歯科診療、齲蝕と進行抑制

授業の一般目標： 小児の歯科治療および齲蝕予防ができるようになるために、小児への対応、小児の齲蝕と進行抑制について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 小児への対応法を説明できる。
- 3) 小児の齲蝕の特徴を説明できる。
- 4) フッ化物の使用について説明できる。
- 5) シーラントについて説明できる。
- 6) 口腔衛生指導について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：『小児の口腔科学』 齲蝕と予防
準備学修時間：30分
事後学修項目：配布プリント
事後学修時間：30分

=====

講義日	時限	国試出題基準
10月31日	1時限	各論-Ⅱ-1-エ-a 各論-Ⅱ-2-ウ-a 各論-Ⅱ-2-ウ-c

担当者 *小川 奈保

テーマ： 小児期の歯冠修復と歯内療法

授業の一般目標： 小児歯科患者の保存処置ができるようになるために、小児の歯冠修復および歯内療法について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 小児の歯冠修復の適応症を説明できる。
- 3) 小児の歯冠修復の術式を説明できる。
- 4) 小児の歯内療法の適応症を説明できる。
- 5) 小児の歯内療法の術式を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：「小児の口腔科学」齲蝕治療
準備学修時間：30分
事後学修項目：配布プリント
事後学修時間：30分

講義日 時限 国試出題基準
11月01日 1時限 各論-I-4-ウ 各論-I-4-イ 各論-I-4-エ-a

担当者 *根本 晴子

テーマ： 小児の外傷歯への対応

授業の一般目標： 歯の外傷を主訴として来院する小児患者に対処できるようになるために、小児の歯の外傷の特徴、診査、診断および対応方法を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 小児の歯の外傷の特徴を説明できる。
- 3) 小児の歯の外傷の原因を説明できる。
- 4) 外傷歯への影響を説明できる。
- 5) 乳歯外傷による後継永久歯への影響を説明できる。
- 6) 乳歯および幼若永久歯の歯冠破折の診査と診断および処置法と予後を説明できる。
- 7) 乳歯および幼若永久歯の歯根破折の診査と診断および処置法と予後を説明できる。
- 8) 乳歯および幼若永久歯の脱臼の診査と診断および処置法と予後を説明できる。
- 9) 小児の歯の外傷の予防を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：「小児の口腔科学」歯の外傷と処置

準備学修時間：30分

事後学修項目：配布プリント

事後学修時間：30分

=====

講義日 時限 国試出題基準
11月02日 1時限 各論-I-3-ウ-a 各論-I-3-イ-c 各論-I-3-イ-g 各論-I-3-イ-i 各論-I-3-ウ-b 各論-I-3-ウ-c 各論-I-3-ウ-d 各論-I-3-ウ-e

担当者 *清水 邦彦

テーマ： 小児の外科的処置

授業の一般目標： 小児の口腔疾患に外科的対応をするために、小児期に行われる主な外科処置を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 炎症に対する対応を説明できる。
- 3) 小帯異常とその対応を説明できる。
- 4) 口唇に現れる病変とその対応を説明できる。
- 5) 歯肉に現れる病変とその対応を説明できる。
- 6) 舌に現れる病変とその対応を説明できる。
- 7) 顎骨内に現れる病変とその対応を説明できる。
- 8) 小児期の局所麻酔について説明できる。
- 9) 乳歯の抜歯について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：「小児の口腔科学」外科的処置

準備学修時間：30分

事後学修項目：配布プリント

事後学修時間：30分

講義日	時限	国試出題基準
11月08日	1時限	総論-VI-1-ア-a 総論-IV-2-ア

担当者 *神谷 直孝

テーマ： 硬組織欠損の検査と治療方針

授業の一般目標： 患者の訴える主訴から歯の硬組織疾患を推測して必要な検査を実施し、その結果から治療方針が決定できるようになるために、硬組織疾患の治療方針について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 患者の訴える主訴から歯の硬組織疾患を推測できる。
- 3) 歯の硬組織疾患の診断に必要な検査法を選択できる。
- 4) 検査法の特徴と実施方法について説明できる。
- 5) 硬組織疾患の検査結果をもとに治療方針を決定できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：保存修復学第5版 P.50～検査法 P.58～治療計画と評価
- ・準備学修時間：30分
- ・事後学修項目：配布資料 保存修復学第5版 同上
- ・事後学修時間：30分

=====

講義日	時限	国試出題基準
11月09日	1時限	各論-II-1-ウ-e 各論-II-1-ア-a

担当者 *寺中 文子

テーマ： 齶蝕除去の臨床術式・器具および歯髄保護

授業の一般目標： 適切な齶蝕除去を行えるようになるために、齶蝕除去の術式と歯髄保護について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 齶蝕除去に必要な器具・器材について説明できる。
- 3) 齶蝕除去の臨床術式について説明できる。
- 4) 各種歯髄保護法について説明できる。
- 5) AIPCについて説明できる。
- 6) AIPCの術式について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：保存修復学第5版 P.90～齶蝕病巣の除去法 P.127～修復システムと歯髄保護
- ・準備学修時間：30分
- ・事後学修項目：該当範囲の国家試験過去問
- ・事後学修時間：60分

講義日	時限	国試出題基準
11月12日	1時限	各論-Ⅱ-1-ウ-b

担当者 *岡田 珠美

テーマ： 齶蝕と非齶蝕性硬組織疾患の処置

授業の一般目標： 適切なコンポジットレジン修復が行えるようになるために、使用する器具・器材の正しい取り扱いについて修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) コンポジットレジン修復に用いる器材について説明できる。
- 3) 処置部位と窩洞形態に適した修復法を選択できる。
- 4) 齶蝕以外の歯の硬組織疾患に対するコンポジットレジン修復について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：保存修復学（第6版）のP75～78およびP158～166を再読し予習する。

準備学修時間：40

事後学修項目：配布資料を再読し、重要事項の暗記および関連する国家試験過去問の見直しをする。

事後学修時間：60分

=====

講義日	時限	国試出題基準
11月13日	1時限	各論-Ⅱ-1-ウ-c

担当者 *寺中 文子

テーマ： 間接修復（メタルインレー、セラミック・コンポジットレジンインレー）の特徴、術式

授業の一般目標： メタルインレー、セラミック・コンポジットレジンインレー修復を適切に行えるようになるために、窩洞の特徴、適応症、術式について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) メタルインレーの窩洞の特徴、適応症、術式について説明できる。
- 3) セラミック・コンポジットレジンインレーの窩洞の特徴、適応症、術式について説明できる。
- 4) レジンコーティング法について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：メタルインレー、セラミック・コンポジットレジンインレーの特徴と術式
- ・準備学修時間：30分
- ・事後学修項目：該当範囲の国家試験過去問
- ・事後学修時間：60分

講義日 時限 国試出題基準
11月14日 1時限 各論-II-1-ウ-f

担当者 *岩井 啓寿

テーマ： 接着操作・術後管理・補修修復

授業の一般目標： 修復物に応じた正しい接着操作、術後管理、補修修復の術式・特徴について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 修復物に応じた正しい接着操作について説明できる。
- 3) 修復処置後の術後管理について説明できる。
- 4) 補修修復の適応症について説明できる。
- 5) 補修修復の術式、手順について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：接着操作、術後管理、補修修復 (P. 181-184、P. 241-246)

準備学修時間：30分

事後学修項目：該当範囲の国家試験過去問

事後学修時間：60分

=====

講義日 時限 国試出題基準
11月15日 1時限 総論-III-2-ア-b 総論-IV-2-ア 総論-IV-2-イ 総論-VI-1-ア-b 総論-VI-1-ア-c 総論-VI-2-エ-b

担当者 *松島 潔

テーマ： 歯内療法の検査と診断（顕微鏡含む）

授業の一般目標： 歯髄・根尖歯周組織疾患の適切な診療ができるようになるために、歯髄疾患とその処置を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 主訴から必要な検査を選択する。
- 3) 検査結果から診断する。
- 4) 適切な処置方針を立てる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：歯髄炎・根尖歯周組織疾患の検査・診断
- ・準備学修時間：30分
- ・事後学修項目：歯髄炎・根尖歯周組織疾患の検査・診断
- ・事後学修時間：30分

講義日	時限	国試出題基準
11月16日	1時限	各論-Ⅱ-2-ア-a

担当者 *神尾 直人

テーマ： 歯髄疾患と処置、治療

授業の一般目標： 歯髄・根尖歯周組織疾患の適切な診療ができるようになるために、歯髄疾患とその処置を習得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき、以下の内容を教授する。
- 2) 歯髄疾患の診断ができる
- 3) 歯髄疾患の処置方針を決定できる。
- 4) 歯髄疾患の処置について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目	過去の歯内療法 of すべて
準備学修時間	1時間
事後学修項目	講義資料
事後学修時間	1時間

講義日	時限	国試出題基準
11月18日	1時限	各論-Ⅱ-2-ア-b

担当者 *神尾 直人

テーマ： 根尖歯周組織疾患と処置、治療

授業の一般目標： 歯髄・根尖歯周組織疾患の適切な診療ができるようになるために、根尖歯周組織疾患と処置、治療について習得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき、以下の内容を教授する。
- 2) 根尖歯周組織疾患の診断ができる。
- 3) 根尖歯周組織疾患の処置方針が決定できる。
- 4) 根尖歯周組織疾患の処置が説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目	過去の歯内療法 of すべて
準備学修時間	1時間
事後学修項目	講義資料
事後学修時間	1時間

講義日 時限 国試出題基準
11月19日 1時限 各論-Ⅱ-2-イ-d 各論-Ⅱ-2-イ-e 各論-Ⅱ-2-イ-g

担当者 *吉田 陽子

テーマ： 根管形成・充填（Ni-Tiを含む）、外科的歯内療法

授業の一般目標： 歯髄・根尖歯周組織疾患の適切な治療をするために、根管形成・充填（Ni-Tiを含む）、外科的歯内療法を修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) ①根管形成について説明できる。
- 3) ②根管充填について説明できる。
- 4) ③外科的歯内療法について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：根管形成法、根管充填法、外科的歯内療法の治療法

準備学修時間：1時間

事後学修項目：根管形成法、根管充填法、外科的歯内療法の治療法

事後学修時間：1時間

講義日 時限 国試出題基準
11月20日 1時限 各論-Ⅱ-2-エ-a 各論-Ⅱ-2-イ-j 各論-Ⅱ-2-エ-b

担当者 *岡部 達

テーマ： 偶発症、漂白、高齢者と歯内療法

授業の一般目標： 歯髄・根尖歯周疾患の適切な診療ができるようになるために、偶発症、漂白、高齢者と歯内療法。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 高齢者の歯内療法について説明できる。
- 3) ウォーキングブリーチ法について説明できる。
- 4) 歯内療法における偶発症と対応法について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：根管治療の原則

準備学修時間：1時間

事後学修項目：講義資料

事後学修時間：1時間

講義日	時限	国試出題基準
11月21日	1時限	各論-Ⅱ-3-ア-d 各論-Ⅱ-3-ア-j 各論-Ⅱ-3-ウ-j

担当者 *中山 洋平

テーマ： 歯周病と全身疾患

授業の一般目標： 歯周疾患と全身疾患との関連について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 慢性歯周炎と糖尿病との関係について説明できる。
- 3) 慢性歯周炎と心血管系疾患との関係について説明できる。
- 4) 慢性歯周炎と呼吸器感染症との関係について説明できる。
- 5) 慢性歯周炎と骨粗鬆症との関係について説明できる。
- 6) 慢性歯周炎とメタボリックシンドロームとの関係について説明できる。
- 7) 慢性歯周炎と早産・低体重児出産との関係について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：ペリオドンタルメディシンを列挙できる。

準備学修時間：30分

事後学修項目：ペリオドンタルメディシンを列挙し、慢性歯周炎との関係性を説明できる。

事後学修時間：50分

=====

講義日	時限	国試出題基準
11月22日	1時限	総論-VI-1-ア-c

担当者 *吉野 祥一

テーマ： 歯周病の診査・診断

授業の一般目標： 歯周病の診査・診断および治療計画について理解できる。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 歯周組織検査の項目について列挙できる。
- 3) 歯周疾患の分類について説明できる。
- 4) 歯周治療の進め方について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：歯周組織検査：歯周疾患分類：歯周治療の進め方
- ・準備学修時間：40分
- ・事後学修項目：歯周組織検査：歯周疾患分類：歯周治療の進め方
- ・事後学修時間：40分

講義日	時限	国試出題基準
11月25日	1時限	各論-Ⅱ-3-ウ-b 各論-Ⅱ-3-ウ-c 各論-Ⅱ-3-ウ-h

担当者 *目澤 優

テーマ： 歯周基本治療・咬合治療

授業の一般目標： 歯周基本治療について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 歯周基本治療の項目を列挙できる。
- 3) 歯周基本治療の内容について説明できる。
- 4) 歯周基本治療の目的を理解する。
- 5) 炎症性因子および外傷性因子の除去療法を理解する。
- 6) 歯周基本治療で行う薬物療法について理解する。
- 7) 歯周外科治療への移行期を理解する。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：臨床歯周病学 第3章～第7章

準備学修時間：2時間

事後学修項目：臨床歯周病学 第3章～第7章

事後学修時間：1時間

講義日	時限	国試出題基準
11月26日	1時限	各論-Ⅱ-3-ウ-d

担当者 *高井 英樹

テーマ： 歯周外科治療・メンテナンス・SPT

授業の一般目標： 歯周外科治療の適応症と術式を習得し、その後のメンテナンスおよびSPTについて理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 新付着術について説明できる。
- 3) 歯肉切除術について説明できる。
- 4) 歯肉剥離搔爬術について説明できる。
- 5) 歯周組織再生療法について説明できる。
- 6) 歯周形成外科手術について説明できる。
- 7) メンテナンスおよびSPTについて説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：臨床歯周病学 第8章歯周外科治療、第28章歯周形成手術

準備学修時間：1時間

事後学修項目：配布資料

事後学修時間：1時間

講義日	時限	国試出題基準
11月27日	1時限	各論-Ⅱ-3-ウ-d

担当者 *小方 頼昌

テーマ： 最新の歯周治療

授業の一般目標： 歯周組織再生療法の種類、適応症と術式を習得し、再生療法による創傷治癒のメカニズムを理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 歯肉剥離搔爬術について説明できる。
- 3) 歯周組織再生療法について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：臨床歯周病学 第2版 第24章ティッシュエンジニアリング、第26章GTR法、第27章エナメルマトリックスタンパク質を用いた歯周組織再生療法
準備学修時間：1時間
事後学修項目：配布資料
事後学修時間：1時間

=====

講義日	時限	国試出題基準
12月03日	1時限	総論-Ⅱ-6-イ-b 総論-Ⅱ-6-イ-b

担当者 *浅野 隆

テーマ： 顎口腔機能に関わる国家試験問題解説1

授業の一般目標： 歯科補綴臨床における診査、診断、治療を適切に行うために、下顎運動に関する解剖学的事項を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 下顎運動と咀嚼筋の関連を説明できる。
- 3) 下顎限界運動に関わる靭帯等について説明できる。
- 4) 下顎位について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：実践 全部床義歯学、冠橋義歯学2019 の顎機能に関する範囲を参照。
- ・準備学修時間：30分
- ・事後学修項目：実践 全部床義歯学、冠橋義歯学2019 の顎機能に関する範囲を参照。
- ・事後学修時間：30分

講義日	時限	国試出題基準
12月04日	1時限	総論-VI-1-イ-a 総論-VI-1-イ-a

担当者 *浅野 隆

テーマ： 顎口腔機能に関わる国家試験問題解説 2

授業の一般目標： 歯科補綴臨床における診査、診断、治療を適切に行うために、顎口腔機能に関する生理学的事項を理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 顎機能に関わる基準点、基準線、基準面について説明できる。
- 3) 顎機能に関わる下顎位について説明できる。
- 4) 顎機能に関わる下顎運動について説明できる。
- 5) 顎機能に関わる咀嚼運動について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：実践 全部床義歯学、冠橋義歯学2019 の関連範囲を参照。
- ・準備学修時間：30分
- ・事後学修項目：実践 全部床義歯学、冠橋義歯学2019 の関連範囲を参照。
- ・事後学修時間：30分

講義日	時限	国試出題基準
12月05日	1時限	各論-IV-5-ア

担当者 *矢崎 貴啓

テーマ： 全部床義歯の国家試験問題解説 1

授業の一般目標： 歯科医師国家試験問題に基き全部床義歯を理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) 人体の正常構造と機能を説明することができる。
- 3) 全部床義歯装着者の咬合・咀嚼について説明することができる。
- 4) 全部床義歯装着者の主要症候、検査、治療について説明することができる。
- 5) 高齢者の歯科治療について説明することができる。
- 6) 全部床義歯の要件と構成を説明することができる。
- 7) 無歯顎患者の診査と診断について説明することができる。

準備学修項目と準備学修時間：

- 95回-112回歯科医師国家試験過去問題集（配布資料）の予習
- 準備学修項目：実践 準備学修時間：2時間
 - 事後学修項目：実践 事後学修時間：2時間

講義日	時限	国試出題基準
12月06日	1時限	各論-IV-5-ア

担当者 *矢崎 貴啓

テーマ： 全部床義歯の国家試験問題解説 2

授業の一般目標： 歯科医師国家試験に基づき全部床義歯を理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する
- 2) 全部床義歯の咬合採得について説明することができる。
- 3) 全部床義歯製作に用いる咬合器について説明することができる。

準備学修項目と準備学修時間：

95回～112回歯科医師国家試験過去問題集（配布資料）の予習

準備学修項目：実践 準備学修時間：2時間

事後学修項目：実践 事後学修時間：2時間

講義日	時限	国試出題基準
12月07日	1時限	各論-IV-5-イ-a 各論-IV-5-イ-b

担当者 *中田 浩史

テーマ： 全部床義歯の国家試験問題解説 3

授業の一般目標： 歯科医師国家試験に基づき全部床義歯を理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 無歯顎患者の診査・診断と前処置について理解することができる。
- 3) 全部床義歯の製作にあたり印象について理解することができる。
- 4) 全部床義歯の製作にあたり模型・咬合床について理解することができる。

準備学修項目と準備学修時間：

96回～112回歯科医師国家試験過去問題集（配布資料）の予習

準備学修項目：歯科医師国家試験過去問題集を学修する。

準備学修時間：60分

事後学修項目：科医師国家試験過去問題集を理解する。

事後学修時間：60分

講義日	時限	国試出題基準
12月11日	1時限	各論-IV-5-イ-c 各論-IV-5-ウ-c

担当者 *木本 統

テーマ： 全部床義歯の国家試験問題解説 4

授業の一般目標： 歯科医師国家試験に基づき全部床義歯を理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 全部床義歯の人工歯排列について理解できる。
- 3) 全部床義歯の歯齦形成について理解できる。
- 4) 全部床義歯の試適について理解できる。
- 5) 全部床義歯の埋没について理解できる。
- 6) 全部床義歯の重合について理解できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：指定教科書および95回-111回歯科医師国家試験過去問題集（配布資料）の予習

準備学修時間：1時間

事後学修項目：指定教科書および95回-111回歯科医師国家試験過去問題集（配布資料）の復習

事後学修時間：1時間

=====

講義日	時限	国試出題基準
12月12日	1時限	各論-IV-5-イ-e 各論-IV-8-カ

担当者 *木本 統

テーマ： 全部床義歯の国家試験問題解説 5

授業の一般目標： 歯科医師国家試験問題に基づき全部床義歯を理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 全部床義歯の装着を説明できる。
- 3) 全部床義歯の調整を説明できる。
- 4) 全部床義歯の術後管理を説明できる。
- 5) 全部床義歯の患者教育を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：指定教科書および95回-111回歯科医師国家試験過去問題集（配布資料）の予習

準備学修時間：1時間

事後学修項目：指定教科書および95回-111回歯科医師国家試験過去問題集（配布資料）の復習

事後学修時間：1時間

講義日	時限	国試出題基準
12月13日	1時限	各論-IV-4-ア-b

担当者 *大久保 昌和

テーマ： 局部床義歯学の国家試験問題解説 1

授業の一般目標： 局部床義歯学の国家試験の問題を理解し、解くことができる。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 局部床義歯の構成要素に関する国家試験問題を理解する。
- 3) 局部床義歯の構成要素に関する国家試験問題を解くことができる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：教科書（歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学）ならびに実践部分床義歯学2020
準備学修時間：60分
事後学修項目：配布資料の復習
事後学修時間：60分

=====

講義日	時限	国試出題基準
12月14日	1時限	各論-IV-4-ア-a 各論-IV-4-イ-a

担当者 *飯島 守雄

テーマ： 局部床義歯学の国家試験問題解説 2

授業の一般目標： 局部床義歯学の国家試験の問題を理解し、解くことができる。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 局部床義歯の診査・診断・前処置に関する国家試験問題を理解する。
- 3) 局部床義歯の診査・診断・前処置に関する国家試験問題を解くことができる。
- 4) 局部床義歯の設計に関する国家試験問題を理解する。
- 5) 局部床義歯の設計に関する国家試験問題を解くことができる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学習項目は教科書（歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学）、実践部分床義歯学2018の当該部分について 準備学習時間：1時間
事後学習項目：講義内容について 事後学習時間：1時間

講義日 時限 国試出題基準
12月16日 1時限 各論-IV-4-イ-b 各論-IV-4-ウ-b

担当者 *石井 智浩

テーマ： 局部床義歯学の国家試験問題解説3

授業の一般目標： 局部床義歯学の国家試験の問題を理解し、解くことができる。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の項目について教授する。
- 2) 局部床義歯の印象採得に関する国家試験問題を理解する。
- 3) 局部床義歯の模型に関する国家試験問題を理解する。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学習項目:教科書（歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学）、国家試験問題過去問
準備学修時間:1時間程度
事後学習項目:教科書（歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学）、国家試験問題過去問
事後学習時間:1時間程度

=====

講義日 時限 国試出題基準
12月17日 1時限 各論-IV-4-イ-c 各論-IV-7-ア

担当者 *飯島 守雄

テーマ： 局部床義歯学の国家試験問題解説4

授業の一般目標： 局部床義歯学の国家試験の問題を理解し、解くことができる。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 局部床義歯の咬合採得に関する国家試験問題を理解する。
- 3) 局部床義歯の口腔内装着に関する国家試験問題を理解する。
- 4) 局部床義歯の特殊な義歯に関する国家試験問題を理解する。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学習項目は教科書（歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学）、実践 部分床義歯学2018の当該部分について 準備学習時間1時間
事後学習項目：講義内容について 事後学習時間1時間

講義日	時限	国試出題基準
12月18日	1時限	各論-IV-8-イ 各論-IV-8-ウ

担当者 *伊藤 誠康

テーマ： 局部床義歯学の国家試験問題解説 5

授業の一般目標： 局部床義歯学の国家試験の問題を理解し、解くことができる。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 局部床義歯の術後管理に関する国家試験問題を理解する。
- 3) 局部床義歯のリライン・リベースに関する国家試験問題を理解する。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：局部床義歯の術後管理、局部床義歯のリライン・リベース

準備学修時間：60分

事後学修項目：講義内容の整理

事後学修時間：60分

講義日	時限	国試出題基準
12月19日	1時限	各論-IV-2-イ-f

担当者 *田中 孝明

テーマ： クラウンブリッジの要件、ブリッジの支台装置、ポンティック、連結部について

授業の一般目標： クラウンブリッジの診療を行うために、クラウンブリッジの要件を理解し、ブリッジの基本構成を説明できる。

到達目標 S B O s :

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) クラウンブリッジの要件を列挙することができる。
- 3) クラウンブリッジの要件に該当する項目を説明できる。
- 4) ブリッジの基本構造を説明できる。
- 5) 支台装置の種類と特徴を説明できる。
- 6) ポンティックの種類と特徴および適応を説明できる。
- 7) ブリッジの種類を記述し、その特徴を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学習項目：クラウンブリッジ補綴学 第5版 の授業項目に掲げた内容を予習する。

準備学習時間：30分

事後学修項目：配布プリントの復習

事後学修時間：30分

講義日	時限	国試出題基準
12月20日	1時限	各論-IV-3-ア 各論-IV-3-イ-a 各論-IV-2-エ 各論-II-1-ウ-f 各論-IV-2-ウ

担当者 *小林 平

テーマ： ブリッジの種類、診査診断、治療計画、前処置

授業の一般目標： 適切なクラウンブリッジの診療を行うために、クラウンブリッジの種類を理解し、診査診断情報から治療計画を立案し、必要な前処置について説明できる。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) クラウンブリッジの診療において、各検査の意義と内容を説明できる。
- 3) 治療計画を左右する因子について説明することができる。
- 4) クラウンブリッジの治療計画を立案することができる。
- 5) クラウンブリッジの治療に必要な診査診断を説明することができる。
- 6) クラウンブリッジの前処置を説明することができる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：教科書および国家試験過去問

準備学修時間：30分

事後学修項目：講義資料

事後学修時間：30分

=====

講義日	時限	国試出題基準
12月21日	1時限	各論-IV-3-イ-b

担当者 *大村 祐史

テーマ： 支台歯形成・プロビジョナルレストレーション・印象採得

授業の一般目標： 適切なクラウンブリッジを装着するために必要な支台歯形成・プロビジョナルレストレーション・印象採得を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する」
- 2) 支台歯形成について説明することができる
- 3) プロビジョナルレストレーションについて説明することができる
- 4) 印象採得について説明することができる

準備学修項目と準備学修時間：

・準備学修項目：支台歯形成、プロビジョナルレストレーション、印象採得についての国家試験過去問を全て理解しておく。

・準備学修時間：180分

・事後学修項目：支台歯形成、プロビジョナルレストレーション、印象採得についての国家試験過去問

・事後学修時間：180分

講義日	時限	国試出題基準
12月23日	1時限	各論-IV-3-ウ-a

担当者 *大村 祐史

テーマ： 作業模型、咬合採得、咬合器付着、ろう型形成、埋没

授業の一般目標： クラウンブリッジの診療を行うために作業模型、咬合採得、咬合器付着、ろう型形成、埋没について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) 作業模型の必要事項について説明できる、
- 3) 咬合採得の方法について説明できる。
- 4) 咬合採得に使用する材料について説明できる。
- 5) 咬合器付着の方法について説明できる。
- 6) 咬合器のプログラミングについて説明できる。
- 7) ろう型形成の方法について説明できる。
- 8) ろう型形成に使用する材料について説明できる。
- 9) 埋没の方法について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

・準備学修項目：第5版クラウンブリッジ補綴学、クラウンブリッジ補綴学実習指針の作業模型、咬合採得、咬合器付着、ろう型形成、埋没の項目

- ・準備学修時間： 60 分
- ・事後学修項目： 講義資料
- ・事後学修時間： 60 分

=====

講義日	時限	国試出題基準
12月24日	1時限	各論-IV-8-イ

担当者 *田中 孝明

テーマ： 鑄造、ろう付け、研磨、試適、術後管理

授業の一般目標： 適切なクラウンブリッジの治療を行うために鑄造、ろう付け、研磨、試適、術後管理について説明できる。

到達目標SBOs：

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) クラウンブリッジの鑄造について説明できる。
- 3) クラウンブリッジの研磨について使用機材と特徴について説明できる。
- 4) クラウンブリッジの試適について意義と調整方法を説明できる。
- 5) クラウンブリッジの術後管理について意義と方法必要性について述べることができる。

準備学修項目と準備学修時間：

クラウンブリッジ補綴学 第5版 第3章ロストワックス法による製作 III埋没・鑄造・熱処理・研磨
第4章装着と術後管理を予習する。
準備学習時間30分
事後学修項目：配布プリントの復習
事後学修時間：30分

講義日 時限 国試出題基準
12月25日 1時限 各論-IV-6-ア-b

担当者 *村上 洋

テーマ： 口腔インプラントの国家試験問題解説

授業の一般目標： 欠損補綴の回復方法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) インプラント義歯設計について説明できる。
- 3) インプラント治療の臨床操作について説明できる。
- 4) インプラント治療の技工操作について説明できる。
- 5) インプラント治療の指導と管理について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：104回-112回歯科医師国家試験過去問題の予習
- ・準備学修時間： 30 分
- ・事後学修項目：104回-112回歯科医師国家試験過去問題の復習
- ・事後学修時間： 30 分

=====

講義日 時限 国試出題基準
12月26日 1時限 各論-IV-6-ア-a 各論-IV-6-イ-d 各論-IV-6-イ-f 各論-IV-6-イ-h

担当者 *北川 剛至

テーマ： インプラントの上部構造・補綴治療

授業の一般目標： 欠損補綴を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。

到達目標SBOs：

- 1) インプラント補綴の術式を説明できる。
- 2) インプラント上部構造の種類を説明できる。
- 3) インプラント治療の特徴、他の補綴治療との比較を説明できる。
- 4) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：授業項目に挙げた内容をよくわかる口腔インプラント学から学修しておく。
- ・準備学修時間： 30 分
- ・準備学修項目：講義資料
- ・準備学修時間： 30 分

講義日	時限	国試出題基準
01月11日	1時限	各論-V-5-エ

担当者 *枝 卓志

テーマ： 全身疾患を有する患者に対する外科処置について

授業の一般目標： 顎口腔領域の疾患を診断し治療計画が立てられるようになるために、疾患の特徴や治療法を学習する。

到達目標 S B O s :

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する」
- 2) 口腔外科治療に影響する疾患の種類を列挙できる。
- 3) 口腔外科治療に影響する疾患の特徴・症状を説明できる。
- 4) 口腔外科治療時の患者管理を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：全身疾患を有する患者に対する外科処置について教科書で学習する

準備学修時間：30分

事後学修項目：全身疾患を有する患者に対する外科処置について教科書、授業プリント及び国家試験過去問題集で学習する

事後学修時間：1時間

=====

講義日	時限	国試出題基準
01月14日	1時限	各論-III-1-ク-k

担当者 *枝 卓志

テーマ： 顎口腔領域の粘膜疾患について

授業の一般目標： 顎口腔領域の疾患を診断し治療計画が立てられるようになるために、疾患の特徴や治療法を学習する。

到達目標 S B O s :

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する」
- 2) 口腔粘膜疾患の種類を列挙出来る
- 3) 粘膜疾患の特徴を述べる事が出来る
- 4) 粘膜疾患の治療法を説明できる

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：顎口腔領域の粘膜疾患について教科書で学習する

準備学修時間：30分

事後学修項目：顎口腔領域の粘膜疾患について教科書、授業プリント及び国家試験過去問題集で学習する

事後学修時間：1時間

講義日 時限 国試出題基準
01月15日 1時限 各論-Ⅲ-2-ウ-c

担当者 *青木 暁宣

テーマ： 下顎骨骨折について

授業の一般目標： 顎口腔領域の疾患を診断し治療計画が立てられるようになるために、疾患の特徴や治療法を学習する。

到達目標SBOs：

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する」
- 2) 顎骨骨折について説明できる。
- 3) 下顎骨骨折の特徴を説明できる。
- 4) 下顎骨骨折の好発部位を説明できる。
- 5) 下顎骨骨折の治療法を説明できる。
- 6) 下顎骨骨折の固定法を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：下顎骨骨折について教科書で勉強する

準備学修時間：30分

事後学修項目：下顎骨骨折について教科書、授業プリント及び国家試験過去問題集で学習する

事後学修時間：1時間

=====

講義日 時限 国試出題基準
01月16日 1時限 各論-Ⅲ-2-ウ-d

担当者 *青木 暁宣

テーマ： 上顎骨骨折について

授業の一般目標： 顎口腔領域の疾患を診断し治療計画が立てられるようになるために、疾患の特徴や治療法を学習する。

到達目標SBOs：

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する」
- 2) 顎骨骨折について説明できる。
- 3) 上顎骨骨折の特徴を説明できる。
- 4) 上顎骨骨折の好発部位を説明できる。
- 5) 上顎骨骨折の治療法を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：上顎骨骨折について教科書で勉強する

準備学修時間：30分

事後学修項目：上顎骨骨折について教科書、授業プリント及び国家試験過去問題集で学習する

事後学修時間：1時間

講義日 時限 国試出題基準
01月17日 1時限 各論-Ⅲ-2-エ-f

担当者 *濱野 美緒

テーマ： 薬物と顎骨骨髓炎について

授業の一般目標： 顎口腔領域の疾患を診断し治療計画が立てられるようになるために、疾患の特徴や治療法を学習する。

到達目標SBOs：

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) ビスホスホネートの適応症を説明できる。
- 3) ビスホスホネートの作用機序を説明できる。
- 4) 歯科治療とビスホスホネートの関連を説明できる。
- 5) ビスホスホネート服用患者の外科処置について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：薬物と顎骨骨髓炎について教科書で学習する

準備学修時間：30分

事後学修項目：薬物と顎骨骨髓炎について教科書、授業プリント及び国家試験過去問題集で学習する

事後学修時間：1時間

=====

講義日 時限 国試出題基準
01月18日 1時限 各論-Ⅲ-2-エ-d 各論-Ⅲ-1-ウ-b 各論-Ⅲ-2-エ-c 各論-Ⅲ-1-ウ-a

担当者 *西村 均

テーマ： 炎症性疾患について

授業の一般目標： 顎口腔領域の疾患を診断し治療計画が立てられるようになるために、疾患の特徴や治療法を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 顎骨の炎症について説明できる。
- 3) 軟組織の炎症について説明できる。
- 4) 炎症の波及について説明できる。
- 5) 膿瘍について説明できる。
- 6) 蜂窩織炎について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学習項目：4年で行った炎症のプリントを参照

事前学習時間：60分

事後学習項目：炎症について4年次に使用した教科書プリントを合わせて再度熟読する。

事後学修時間：2時間

講義日 時限 国試出題基準
01月20日 1時限 各論-Ⅲ-4-イ-e

担当者 *山本 泰

テーマ： ウイルス疾患について

授業の一般目標： 顎口腔領域の疾患を診断し治療計画が立てられるようになるために、疾患の特徴や治療法を学修する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 口腔に関連するウイルスの種類を列記できる。
- 3) 口腔に関連するウイルスの特徴を説明できる。
- 4) ウイルス疾患の治療法と対処法を説明できる。
- 5) 単純疱疹について説明できる。
- 6) 帯状疱疹について説明できる。
- 7) ヘルパンギーナについて説明できる。
- 8) 手足口病について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：口腔に関連するウイルスについて教科書を読んで予習すること。

準備学修時間：60分

事後学修項目：口腔に関連するウイルスについて教科書、配布資料、国家試験過去問題集を用いて復習すること。

事後学修時間：90分

=====

講義日 時限 国試出題基準
01月21日 1時限 必修-1 2-ケ-a

担当者 *濱野 美緒

テーマ： 抜歯について

授業の一般目標： 顎口腔領域の疾患を診断し治療計画が立てられるようになるために、疾患の特徴や治療法を学習する。

到達目標SBOs：

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) 単純・複雑・埋伏歯の抜歯の術式を説明できる。
- 3) 抜歯の禁忌症を説明できる。
- 4) 抜歯の偶発症を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：抜歯についての基本を教科書を用いて確認しておく。

準備学修時間：30分

事後学修項目：抜歯についての基本を教科書、授業配布資料及び国家試験過去問題集を用いて復習しておく。

事後学修時間：1時間

講義日 時限 国試出題基準
01月22日 1時限 総論-IV-1-ウ 総論-VI-4-ア-a

担当者 *鈴木 正敏

テーマ： 呼吸器疾患患者の歯科治療時の注意点について

授業の一般目標： 呼吸器疾患患者に適切に対応できるようになるために、全身管理に留意すべき事項について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 呼吸機能検査について説明できる。
- 3) 換気障害の分類について説明できる。
- 4) 呼吸疾患患者に対する術前の評価法について説明できる。
- 5) 閉塞性換気障害の病態について説明できる。
- 6) 拘束性換気障害の病態について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学 第3版 p24-28, 75-78.

準備学修時間：30分。

事後学修項目：授業配布プリント、講義中記載した内容。

準備学修時間：90分。

=====

講義日 時限 国試出題基準
01月23日 1時限 総論-IV-1-ウ 総論-V-6-ア-b

担当者 *下坂 典立、*中村 真実

テーマ： 心臓弁膜疾患の歯科治療時の注意点について

授業の一般目標： 全身疾患（心臓弁膜疾患）患者に適切に対応できるようになるために、全身管理に留意すべき事項について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 心臓弁膜疾患の病態について説明することができる。
- 3) 心臓弁膜疾患患者の局所麻酔時注意点について説明することができる。
- 4) 心臓弁膜疾患患者の外科処置時の注意点について説明することができる。
- 5) 感染性心内膜炎の病態について説明することができる。
- 6) 感染性心内膜炎予防処置について説明することができる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学 第3版 p74-75.

事前学修時間：30分。

事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。

事後学修時間：60分。

講義日 時限 国試出題基準
01月24日 1時限 各論-Ⅲ-4-ソ-c 各論-Ⅲ-4-ソ-d

担当者 *下坂 典立

テーマ： 局所麻酔時の合併症 その1

授業の一般目標： 局所麻酔時の合併症に適切に対応できるようになるために、留意すべき事項とその対応について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 局所麻酔薬中毒について説明することができる。
- 3) 局所麻酔薬中毒の原因について説明することができる。
- 4) 局所麻酔薬中毒発症時の対応について説明することができる。
- 5) 局所麻酔薬中毒の予防について説明することができる。
- 6) アナフィラキシーショックについて説明することができる。
- 7) アナフィラキシーショックの原因について説明することができる。
- 8) アナフィラキシーショック発症時の対応について説明することができる。
- 9) アナフィラキシーショックの予防について説明することができる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学（第3版）「15. 歯科治療における全身的偶発症」で予習してください。
- ・準備学修時間：60分。
- ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。
- ・事後学修時間：60分。

=====

講義日 時限 国試出題基準
01月25日 1時限 各論-Ⅲ-4-ソ-a 各論-Ⅲ-4-ソ-b

担当者 *下坂 典立

テーマ： 局所麻酔時の合併症 その2

授業の一般目標： 局所麻酔時の合併症に適切に対応できるようになるために、留意すべき事項とその対応について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 血管迷走神経反射および神経性ショックについて説明することができる。
- 3) 血管迷走神経反射および神経性ショックの原因について説明することができる。
- 4) 血管迷走神経反射および神経性ショック発症時の対応について説明することができる。
- 5) 血管迷走神経反射および神経性ショックの予防について説明することができる。
- 6) 過換気症候群について説明することができる。
- 7) 過換気症候群の原因について説明することができる。
- 8) 過換気症候群発症時の対応について説明することができる。
- 9) 過換気症候群の予防について説明することができる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学（第3版）「15. 歯科治療における全身的偶発症」で予習してください。
- ・準備学修時間：60分。
- ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。
- ・事後学修時間：60分。

講義日 時限 国試出題基準
01月27日 1時限 総論-VII-4-U-d

担当者 *下坂 典立

テーマ： 静脈内鎮静法について

授業の一般目標： 安全で快適な患者管理を行うために、精神鎮静法特に静脈内鎮静法について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 精神鎮静法の概念について説明することができる。
- 3) 静脈内鎮静法について説明することができる。
- 4) 静脈内鎮静法に使用する薬物について説明することができる。
- 5) 静脈内鎮静法時の呼吸抑制について、その原因と対応について説明することができる。
- 6) 静脈路確保について説明することができる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学（第3版）、「12. 精神鎮静法」で予習してください。
準備学修時間：45分。
事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。
事後学修時間：60分。

=====

講義日 時限 国試出題基準
01月28日 1時限 総論-VII-4-I-e 各論-III-4-se-b

担当者 *下坂 典立

テーマ： 歯科医師が理解すべき不整脈（心電図波形）について

授業の一般目標： 安全で快適な患者管理を行うために、歯科医師が理解すべき不整脈について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 心電図検査について説明することができる。
- 3) 心臓の解剖学的電気現象について説明することができる。
- 4) 心電図波形について説明することができる。
- 5) 上室性期外収縮について説明することができる。
- 6) 上室性期外収縮発症時に投与すべき薬物について説明することができる。
- 7) 心室性期外収縮について説明することができる。
- 8) 心室性期外収縮発症時に投与すべき薬物について説明することができる。
- 9) 注射法について説明することができる。
- 10) 静脈注射について説明することができる。

準備学修項目と準備学修時間：

・準備学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学（第3版）、「4. 管理上問題となる疾患」で予習してください。
・準備学修時間：45分。
・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。
・事後学修時間：60分。

講義日 時限 国試出題基準
01月29日 1時限 各論-IV-6-イ-a

担当者 *玉木 大之

テーマ： 口腔インプラント埋入手術について

授業の一般目標： 欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 口腔インプラント埋入手術について説明できる

準備学修項目と準備学修時間：

準備学習項目：授業項目に挙げた内容をよくわかる口腔インプラント学から学修しておく。
準備学習時間：45分
事後学修項目：授業項目に挙げた内容をよくわかる口腔インプラント学から学修する。
事後学修時間：45分

=====

講義日 時限 国試出題基準
01月31日 1時限 各論-III-2-カ-a

担当者 *平原 尚久

テーマ： 顎骨に発生する嚢胞・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断

授業の一般目標： 顎骨に発生する嚢胞・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断について説明できる。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 顎骨に発生する嚢胞・腫瘍および腫瘍類似疾患を列挙できる。
- 3) 顎骨に発生する嚢胞・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像検査法について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：顎骨に発生する嚢胞・腫瘍および腫瘍類似疾患の特徴
準備学修時間：60分
事後学修項目：顎骨に発生する嚢胞・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断
事後学修時間：60分

講義日 時限 国試出題基準
02月01日 1時限 各論-III-2-ウ-d

担当者 *平原 尚久

テーマ： 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の画像診断

授業の一般目標： 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の画像診断を行えるようにする。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 骨折を定義を説明できる。
- 3) 骨折の診断に必要な検査法を説明できる。
- 4) 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の骨折について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目： 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の特徴
準備学修時間： 60分
事後学修項目： 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の画像診断
事後学修時間： 60分

講義日 時限 国試出題基準
02月03日 1時限 各論-III-2-エ-b

担当者 *平原 尚久

テーマ： 歯槽骨・顎骨の炎症の画像診断

授業の一般目標： 歯槽骨・顎骨の炎症の画像診断を行える。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 歯槽骨・顎骨の炎症について述べることができる。
- 3) 歯槽骨・顎骨の炎症を診断するための検査法を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目： 歯槽骨・顎骨の炎症の特徴
準備学修時間： 60分
事後学修項目： 歯槽骨・顎骨の炎症の画像診断
事後学修時間： 60分

講義日 時限 国試出題基準
02月04日 1時限 各論-Ⅲ-1-オ-a

担当者 *平原 尚久

テーマ： 軟組織に発生する嚢胞性疾患・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断

授業の一般目標： 軟組織に発生する嚢胞性疾患・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断について説明できる。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 軟組織に発生する嚢胞性疾患・腫瘍および腫瘍類似疾患について説明できる。
- 3) 軟組織に発生する嚢胞性疾患・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目： 軟組織に発生する嚢胞性疾患・腫瘍および腫瘍類似疾患の特徴

準備学修時間： 60分

事後学修項目： 軟組織に発生する嚢胞性疾患・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断

事後学修時間： 60分

講義日 時限 国試出題基準
02月05日 1時限 各論-Ⅲ-4-サ

担当者 *淵上 真奈

テーマ： 感染症

授業の一般目標： 有病者の歯科治療を安全に行うために、感染症の診断に必要な検査項目、疾患の原因および症状について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 感染症の定義について述べることができる。
- 3) 感染症を調べるための検査項目を述べることができる。
- 4) 感染症の原因と臨床症状を述べることができる。
- 5) 感染症に罹患している患者への歯科治療を行う際の注意点を述べることができる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目： 4年時の講義プリント

準備学修時間： 30分

事後学修項目： 講義資料

事後学修時間： 30分

講義日 時限 国試出題基準
02月06日 1時限 各論-Ⅲ-4-サ

担当者 *小峯 千明

テーマ： 出血性素因

授業の一般目標： 出血性素因について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 出血性素因の定義を述べられる。
- 3) 出血性素因の原因を述べられる。
- 4) 止血の仕組みを述べられる。
- 5) 出血性素因を調べるための検査項目を述べられる。
- 6) 出血性素因を有する患者の歯科治療を行う際の注意点を述べられる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目： 4年次講義プリント
準備学修時間：30分
事後学修項目：講義プリント
事後学修時間：30分

講義日 時限 国試出題基準
02月07日 1時限 各論-Ⅲ-4-ク-a

担当者 *深津 晶

テーマ： 貧血

授業の一般目標： 貧血について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。
- 2) 貧血の定義が述べられる。
- 3) 貧血を調べるための検査項目およびその意義を述べられる。
- 4) 貧血に伴う特徴的な症状を述べられる。
- 5) 貧血を有する患者の歯科治療を行う際の注意点を述べられる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目： 4年次講義プリント
準備学修時間：30分
事後学修項目：講義プリント
事後学修時間：30分

講義日	時限	国試出題基準
02月13日	1時限	必修-4-ア-c 必修-4-ア-a 必修-4-ア-b 必修-4-ア-d 必修-4-ア-e 必修-4-ア-f

担当者 *有川 量崇

テーマ： 口腔衛生総論

授業の一般目標： 適切な歯科疾患の予防・管理を行うために健康増進と疾病予防の概念について理解する。

到達目標SBOs：

- 1)ヘルスプロモーションについて理解する。
- 2)プライマリヘルスケアについて理解する。
- 3)健康日本21（第二次）について理解する。
- 4)メタボリックシンドロームについて理解する。
- 5)健康増進法について理解する。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：健康増進と疾病予防の概念について予習を行う。
準備学修時間：30分
事後学修項目：健康増進と疾病予防の概念について復習を行う。
事後学修時間：30分

=====

講義日	時限	国試出題基準
02月14日	1時限	各論-II-1-I-a

担当者 田口 千恵子

テーマ： 齲蝕の予防・管理

授業の一般目標： 適切な歯科疾患の予防・管理を行うために齲蝕の病因、ライフステージと齲蝕、予防手段について理解する。

到達目標SBOs：

- 1)齲蝕の病因について説明できる。
- 2)齲蝕活動性試験・評価について説明できる。
- 3)ライフステージにおける齲蝕について説明できる。
- 4)齲蝕の予防手段について説明できる。
- 5)齲蝕予防におけるフッ化物の応用を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：齲蝕の病因、齲蝕活動性試験・評価、齲蝕の予防手段について予習を行う。
準備学修時間：30分
事後学修項目：齲蝕の病因、齲蝕活動性試験・評価、齲蝕の予防手段について復習を行う。
事後学修時間：30分

講義日	時限	国試出題基準
02月15日	1時限	必修-2-キ-a 必修-2-キ-b

担当者 * 笹井 啓史

テーマ： 医事紛争

授業の一般目標： 医事紛争に関する裁判（民事・刑事）と賠償責任を理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 行政経験に基づき、以下の内容を教授する。
- 2) ・ 医事紛争を理解する
- 3) ・ 民事裁判と刑事裁判の違いを理解する
- 4) ・ 医療従事者の賠償責任を理解する

準備学修項目と準備学修時間：

- ・ 準備学修項目： 医事紛争
- ・ 準備学修時間： 120分
- ・ 事後学修項目： 医事紛争
- ・ 事後学修時間： 180分

講義日	時限	国試出題基準
02月17日	1時限	各論-Ⅱ-3-イ-a

担当者 田口 千恵子

テーマ： 歯周疾患の予防・管理

授業の一般目標： 適切な歯科疾患の予防・管理のために歯周疾患や口臭の病因、予防手段について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 歯周疾患の病因について説明できる。
- 2) 歯周疾患のリスクファクター・診断について説明できる。
- 3) 歯周疾患の予防方法について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- 準備学修項目： 歯周疾患の病因、リスクファクター、診断について、予習する。
- 準備学修時間： 30分
- 事後学修項目： 歯周疾患の病因、リスクファクター、診断について、復習する。
- 事後学修時間： 30分

講義日 時限 国試出題基準
02月18日 1時限 総論-I-2-ア-a

担当者 後藤田 宏也

テーマ： 地域歯科保健

授業の一般目標： 適切な健康管理を行うために、地域歯科保健について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 地域歯科保健について説明できる。
- 2) 母子歯科保健について説明できる。
- 3) 学校歯科保健について説明できる。
- 4) 産業歯科保健について説明できる。
- 5) 老人歯科保健について説明できる。
- 6) 障害者・障害児歯科保健について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：地域保健活動について予習を行う。
準備学修時間：30分
事後学修項目：地域保健活動について復習を行う。
事後学修時間：30分

=====

講義日 時限 国試出題基準
02月19日 1時限 必修-2-イ-h 総論-I-4-ア-c

担当者 * 笹井 啓史

テーマ： 医療経済と国民医療費

授業の一般目標： 医療経済学を理解する

到達目標SBOs：

- 1) 行政経験に基づき、以下の内容を教授する。
- 2) ・医療と経済学の関係を理解する
- 3) ・医療経済学の経済的基礎を理解する
- 4) ・医療経済からみた国民医療費を理解する

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：医療経済学の定義と関連用語
- ・準備学修時間：120分
- ・事後学修項目：医療経済学の意義と意味
- ・事後学修時間：180分

講義日 時限 国試出題基準
02月20日 1時限 必修-2-イ-h 総論-I-4-ア-b

担当者 *笹井 啓史

テーマ： 薬事法規全般

授業の一般目標： 薬機法、薬剤師法。毒物および劇物取締法、麻薬及び向精神薬取締法等の医薬品や医療機器を取り巻く法制度全般を、総括的に理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 行政経験に基づき、以下の内容を教授する。
- 2) ・薬事制度全般の仕組みを理解する
- 3) ・薬事制度に関する関係法規として薬機法を理解する
- 4) ・薬事制度に関する関係法規として薬機法以外の法令を理解する

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：薬事制度制度関連法令
- ・準備学修時間：120分
- ・事後学修項目：薬事制度制度の内容と各種法令による規制
- ・事後学修時間：180分

=====

講義日 時限 国試出題基準
02月21日 1時限 総論-I-6-ア-g 総論-I-6-イ-a 総論-I-6-ウ-a 総論-I-6-ウ-b 総論-I-6-ウ-c 総論-I-6-ウ-d

担当者 *有川 量崇

テーマ： 歯科疾患の統計指標

授業の一般目標： 歯科疾患の予防・管理を行うために、歯科領域における統計指標（齲蝕、歯周疾患、歯口清掃状態）について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 疫学の定義と目的について述べることができる。
- 2) 齲蝕の統計指標について説明することができる。
- 3) 歯周疾患の統計指標について説明することができる。
- 4) 口腔清掃状態の統計指標について説明することができる。
- 5) 歯のフッ素症の指標について説明することができる。

準備学修項目と準備学修時間：

- 準備学修項目：歯科疾患の統計指標について予習を行う。
- 準備学修時間：30分
- 事後学修項目：歯科疾患の統計指標について復習を行う。
- 事後学修時間：30分

講義日	時限	国試出題基準
03月16日	1時限	必修-5-A-a

担当者 平塚 浩一

テーマ： 生化学

授業の一般目標： 身体を構成する基本物質を理解するために、タンパク質・炭水化物・脂質等の構造や特徴を学ぶ。

到達目標 S B O s :

- 1) 生体を構成する基本成分が理解できる。
- 2) 五大栄養素とエネルギー代謝が理解できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：3年生栄養学プリントを見直し不明な点を探しておくこと。
事前学修時間：1時間
事後学修項目：今回配布したプリントの見直し。
事後学修時間：1時間

=====

講義日	時限	国試出題基準
03月17日	1時限	必修-5-A-d 必修-5-A-c

担当者 玉村 亮

テーマ： 組織学

授業の一般目標： 人体を構成する細胞・組織の内部構造を理解するために、組織学の基本的事項に関する知識を習得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 細胞の構成要素を説明できる。
- 2) 上皮組織の種類と特徴を説明できる。
- 3) 支持組織の種類と特徴を説明できる。
- 4) 筋組織の種類と特徴を説明できる。
- 5) 神経組織を構成する細胞とその特徴を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：人体を構成する細胞および4つの組織について
準備学修時間：60分
事後学修項目：講義資料の復習
事後学修時間：60分

講義日	時限	国試出題基準
03月18日	1時限	必修-5-A-e

担当者 松野 昌展

テーマ： 解剖学

授業の一般目標： 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた解剖学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。

到達目標SBOs：

- 1)骨の一般構造を説明できる。
- 2)全身の骨を説明できる。
- 3)骨格筋の一般構造を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：教科書
準備学修時間：30分
事後学修項目：講義資料
事後学修時間：30分

講義日	時限	国試出題基準
03月19日	1時限	必修-5-A-e

担当者 吉垣 純子

テーマ： 生理学

授業の一般目標： 体液の移動を理解するために、浸透圧について学ぶ。

到達目標SBOs：

- 1)浸透圧とは何か説明できる。
- 2)血漿膠質浸透圧と血漿浸透圧の違いを説明できる。
- 3)浮腫の原因を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：体液と血圧の関係を学習する。
準備学修時間：30分
事後学修項目：浮腫の原因となる疾患とそのメカニズムを理解する。
事後学修時間：30分

講義日 時限 国試出題基準
03月21日 1時限 必修-5-ア-f

担当者 落合 智子

テーマ： 感染免疫学

授業の一般目標： 感染防御における免疫のしくみを理解するために、免疫機構の基本的知識を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 免疫系の基本的な構成要素について説明できる。
- 2) 免疫担当細胞の種類を説明できる。
- 3) 自然免疫について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学習項目： 免疫機構の全体の流れを学習する。
準備学習時間： 1時間
事後学習項目： 教科書、プリントの復習
事後学習時間： 1時間

=====

講義日 時限 国試出題基準

03月23日 1時限 必修-7-ア-a 総論-III-1-ア 総論-III-1-イ-a 総論-III-1-ウ-a 総論-III-1-ウ-b 総論-III-1-ウ-d 総論-III-1-エ-b 総論-III-1-オ-c

担当者 *宇都宮 忠彦

テーマ： 病理学

授業の一般目標： 病因・病態を理解するために、病因論と病変とのかかわりについて学習する。

到達目標SBOs：

- 1) 以下の学修目標と内容は基礎歯科医学教育及び臨床経験に基づいて設定する。
- 2) 病因を列挙することができる。
- 3) 6大病変の特徴と代表的疾患について説明できる。
- 4) 主要な口腔疾患の病理学的特徴について解説できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：
1) 内因と外因、6大病変、主な口腔疾患
・事前学修時間：30分
事後学修項目：
1) 講義演習問題の復習
・事後学修時間：30分

講義日	時限	国試出題基準
03月24日	1時限	総論-VII-8-ア-b 総論-VII-8-ア-c 総論-VII-8-イ-d

担当者 松本 裕子

テーマ： 薬理学

授業の一般目標： 薬物療法を理解するために、薬理学の基本的事項に関する知識を修得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 薬物の作用機序について説明できる。
- 2) 薬物動態について説明できる。
- 3) 薬物の副作用について説明できる。
- 4) 薬物の相互作用について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：第113回歯科医師国家試験の薬理学関連問題を解く。
事前学修時間：30分
事後学修項目：授業時配布プリントの内容確認と整理。
事後学修時間：30分

=====

講義日	時限	国試出題基準
03月25日	1時限	必修-1 2-セ-a

担当者 谷本 安浩

テーマ： 歯科生体材料学

授業の一般目標： 歯科材料を適切に使用するために、歯科理工学の基礎知識を習得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 有機材料の種類および性質を説明できる。
- 2) 無機材料の種類および性質を説明できる。
- 3) 複合材料の種類および性質を説明できる。
- 4) 金属材料の種類および性質を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：SB0sについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。
事前学修時間：30分
事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（歯科材料の基本的性質）を整理・復習する。
事後学修時間：30分

学生番号 _____ (院内番号) _____

氏 名 _____